旨を説明し

議

12

平野

理事

長が訪問 介に始

の自己紹 事務長の司

ま

務長から福井県

板

0

へった。

初めに

沢田

沢田

会で両

究委員、

沢田幸三

事

務 研

の各氏が出席され、

笠島幸一前経営技術

(1)

10名で22支部

があ

支部

11

長

1名

福井県板からは千秋

車で15分ほどの

福井 1:0

県

長のお出迎えをうけ 福井県板笠松総務委

月21日JR福井

名·職 事

員3名で運

営 事

長4名 · 専務理

事

務所を訪

11

名誉

理事、

311

練校校長

勇副理事

長、

前田仁

勝

笠松幸郎

総務委員長、

ビジョン調

生 事業活動の 」の先進事例県として福井県 知県板平野理事 経営コンサルタントで専 営対策委員 拓ビジョ 合理 ン 化 の調査 ・システム |見広報委員の5名で福 長・石原 研究 テー 経営対策委員 門委員の小島 板を調査対象 化と新市 マであ 場の る。 長 先 77 開

iff 拓

し 1 課金は毎月2千6 出資金3万1千円、 少 化による廃業でやや 委員会、 867名であるが近年高 5委員会がある。 つの傾向にある。 組合員は、 組合加入金は5万 研究委員会、 保証 9月 委員会 構 現 百 賦円 円 减 令 在

指導訓練委員会、 委員会は 1) 総務委員 経 0 成営

県 知 板金工業組合

名古屋市昭和区 北山町3-8-6 電話 732-1226 発行 広報委員会

参加した。工事は無災で延べ550名の組合員が で延べ550名の組合員が かりあ返 きたが 害で ワイド て施 事業、 明があった。 事に生かしたい。 244 壁ヨドサイ の工事は屋 組合を発足させた。 部11事業所で板金工 くの組合員の参加を得 議検討し、 頼があった。 員 よう指 ーフ0.等延面 で来られる組合員12 商社佐渡島を通して依 施工してほしいと指定 の多くの板金工事店で の板金工事を福井県下 するに際して屋根や壁鋼所が福井工場を新築 導訓練委員 推進について、 また組合加 がイドの.8 他ので工期平氏 籍7 現場まで1 福井県板は が加入していると説 あ 竣工 つった 定人数 工することにした。 保険にも 免除さ h 協業化の対策と 導して組合員全 70 との工事を 才以 することが 以上の後 根· で今後 題点が幾 なるべく多 八と同 れて 長から、 成元 ィ積・ ン19,385ヨ グ*㎡*ド 県板で 時間以 ㈱淀川 次に共同 確 加入する 上 前田 いる。 で 軒 年 m_{ζ}^2 で 9 天 600 ۲ 事 支 内 協 ル 指 製

3. 施 手直しが一 が出 80 I 人工 後の 検査で手直 延べに ŧ 問 題

との 決できる。 工手 が 能 事をするため、 町 0 している人も野丁場 きると思う。 持 部 2 か来ないか解らない。 おに ~ばらば ターすることで 八も一緒 率 仕 屋ばかりの の点は工事を各支 電話 たせる事で解決 に分担して責任を いても当日は来る 順をし が悪 点は作業 事 連絡 L 帕になって工しか知らない 50 0 を入れ つ 仕事 か 前 考 h え 銘 12 マ 施 R を で 7

25 日

中 13

つ

たことに

加えて出

面が悪か

った事で工

が遅

れた。

福井

地

が始まった

まった9月6

H 事

中の天気が 日も雨が降

とれは工

天気の不 ない。

順で工

事

0

かり

ĺ

ないとい

17

もっと作業管理を この 反省は仕

以 Ŀ 5 あった前 を忘れるなと 0 もう少し事前に天気 が雨 が工 きであ をよく調べて の日 で Iが多い。 つった。 0 訓 場責任者 いうく 練 校校校

大統研究委員の笠島氏作成や在庫管理・原価作成や在庫管理・原価をして経営の合理化にをして経営の合理化にをのいる前経営の合理といる。 明るくすると共に れ が熱の入った説明をさ 事業活動 板金業の将 、つづ 0 合 理 化 12

方は

弁当忘れても傘

うので省く。 後日、報告さ ったが 施設がモデル る事になり福井県では 全週休2日 のため、 魅力ある建設業づくり 衛生研究所放射線監視 人について、 つぎ 詳細 に週 公共工事の完 12 日制を試 休 2 されると思いては 設 日 行す 省 制 から

別表

子

定

日

0

2

3

日

前

金

7

25万円と大変

費になった。

事中

▶賃金と必要経費の基礎条件◀

- 1) 年齢36才~39才 家族=妻と子供2人(小学生)計4人
 - 板金作業20年以上
- 3) 年間総収入 550万円(残業・休日出勤等を含む)
- 4) 年間総稼働日数 252日(休日等は次の通り)
- 1日 = 21,800円(基礎計算は次の通り) 金
- 6) 営業経費 1日=13.100円
- 1日の賃金+営業経費=34,900円=35,000円

◎年間実働日数の出し方(平成3年度)

- 1) 正月休 12/29~1/4 7日 5) 振替休日 3日
- 6) 第2第4土曜日 2) お盆休 8/14~8/16 3日 24日
- 3) 日曜日 年間 51日 7) 有給休暇 10日 4)祭日 12日 8) 修 3日
- 計 73日 計 40日

休日の総合計 113日 1年365日 - 休日113日 = 実働日数252日

○ 年間実働時間

252日×8時間=2,016時間 年間2,000時間以内目標

◎ 賃金算出方法

550万円÷252日=21,800円

◎ 営業経費の算出

税金・事務員の給料・トラックの償却・ガソリン代・廃材の処理費・消耗品 その他諸々の経費を調査したところ従業員1人当り1日13,100円と いう結果が出ました。

県の長谷寺とか東大寺

ようになった。

徳川8代将軍吉宗は

など有名なお寺に瓦が

雨 屋 屋根と材料 根 水 を考える

(10)

るように

なっ

葺き変える必

要が

あ

は本来雨 露が防 されるまでは本瓦葺

年に百済(朝経 るようになった。 の屋根には瓦が使わ 瓦も伝わって来てお寺 た。仏教の伝来と共に 屋根がほとんどであっ った。瓦が日本に入っ た。それまでは茅葺き 一部)から伝わって来 ができれ 新年前の588 ば良か

日本で最初に瓦が使 ば かりであった。

られた。その後、奈良 古い建物は大阪の四天 存しない。現存で最も 王寺であり59年に建て で59年に完成したが現 れた建物は、法興寺 り抽火事とも言われ、1657年明暦のテナ るよう防火対策をとる 茅葺き屋根には土を塗 けてしまったことから の華」と言われた。 く「火事と喧嘩は江戸 た。このため火事も多 も茅葺き屋根が多かっ ったため、江戸の町に 葺くことが許されなか うことで一般家屋には われず、 敷とかお寺だけしか ようになっても武家屋 屋根に瓦が使わ 分不相応とい

屋根が見られなくなっ そうした防火対策のた きへの転換を進めた。 町の中では茅葺き

いる。 建物の屋根は不燃材料 ればならないとなって が制定され、 で書いたように草葺き でつくり又は葺かなけ 屋根には鉄板をか 昭和25年建築基準法 とのため先月号 第22条で ~ ぶせ

屋根、

یں 2 40

度

ビン社と技術提

れる ŧ 言えば粘土を瓦の形に 焼いたものを言う と言えば一般

かに残すだけで、ほと 構造2階建住宅をわず 宅および2階建て住宅 住宅·簡易耐火平屋住 内に市営住宅がいたる んど高層耐火住宅に建 た。現在では簡易耐火 メント瓦で葺かれてい 合計で到戸の屋根がセ 所に建てられた、木造 では石綿瓦がある。 が、忘れてはいけない セメント瓦があり近 昭和30年代名古屋市 だが、普通スレートと 言うと石綿スレートを

つぎにスレート

葺き

もたらした。福井地方

井工業㈱を訪問した。

台風19号は北陸

多角経営を目指した臼を行なっている㈱丸合、財務管理や経営合理化ンピューターを使った

きがある。ひのきの樹屋根を代表する檜皮葺の他には、日本建築の えて使う。 う檜皮は厚さ15~18 m 先で9 m・中央部で12 長さ75㎝・幅15㎝に揃 真皮をはぎ葺き材に使 をはぎ、7~8年後に 齢70~80年の鬼皮だけ が一般的な葺き足であ 瓦屋根や茅葺き屋根 葺き足は軒 14

在のような桟瓦が発明 江戸時代の初期に、現 苺かれてきた。 しかし

補助金まで出して瓦葺 を禁じていたものを、 それまで町人の瓦葺き

る。 葺きである。 広島の厳島神社も檜皮 の風で大被害を受けた て野地板に止めていく。 およその枚重ねになる。 9月27日の台風 これを竹釘を使っ 檜皮葺 19号 ŧ

から5年間かけて葺き本堂の檜皮屋根が84年 は除外される。 要文化財建造物にかぎ 建築基準法第22条 宝または国指定

う。日本には明治の初 産出するのは、宮城県 日本で天然スレートが めに入って来た様だ。 使う天然石のことを言 さ6 加ぐらいにはいで 材で珪酸質粘板岩を厚 さしている様だが、 方で葺かれていた屋根 レートはヨーロッパ 地 ス

姿を消した。

て替えられているため

葺き足を120 桃生郡雄勝町であ 本の釘で野地板に止 加厚さ6加に切り揃え サイズは縦360 mmとして2 mm × 幅 180 5 80

ある。

屋根も、 ている。 天然スレー 名古屋市市政史料館 愛板28号で紹介 レートを使用し、ここで取れた L 0 75

れていたが、久保田 場の屋根や壁に使用さ 工がすでにアメリカで は波形に成型されて工 は普及していたカラー ストを米国ジョン 石綿スレー トの多く ズ 鉄

桟 瓦

いる。 ていた。 最初の頃は建材店や瓦 工事店が工事を施工 たのは昭和42年からで 生産販売が軌道に乗っ た屋根材が発売されて かれる様になり、最近 発売した。それからは では天然スレートに トが住宅の屋根にも葺 カラフルなカラーベス 」を昭和35年12月に カラーベストの 似

店や福井県の㈱ 中部地方では昭和45年 在は㈱植松)が最初で の㈱植松康男商店(現 のは昭和43年に沼津市 ストを扱う様になった の問屋さんがカラーベ れている鉄鋼二次製品 から名古屋の㈱池田商 植松商店からの紹介で 私たちが材料を仕入 北川商

と言える。

扱う様になった。 板金店は本業の しかし施工業者であ 店(現在は㈱北川 が高景気 板金工 る

からで、

へって

して 平 形屋根スレ

カラーベストにまで手 工した板金店の恥では 組合員全員が保証工事 保証工事の実績も多く 恥であるが福井県板は なく、板金業者全体の

カラーベストを葺く板を出さなかったためか 的に手掛ける様になっ だ。 金店は少なかったよう 我々 板金業者が本格

たのは昭和40年代後半 気に広がっ 昭和50年代に 式典をホテルニュ ベスト発売30周年 れてみたい。 ータニで盛大に開催さ 成2年6月14日カラー 次回は金属屋 ㈱クボタでは平 根に 記念 1 鷲 見

った。 地方にも大きな被害を 害についていろいろ同 月27日の台風19号の被 昼食を取りながら9

る将来を考えれば別表 らしい生活と希望の のような1日の賃金 頁よりつづく あ 少なかった。午後は の工事がしてあったた 事でも保証工事と同等 めに折板屋根の被害 て、保証工事でない工 伴う講習を受けて

7尺が欲しいと云って 前に施工された屋根で 多くこれは保証制度以 のほか、瓦棒の屋根が 番てっとり早いから。 応急修理には波板が一 そうだ。屋根が飛べば 品切れで手に入らない 入らない。特に傘釘は も希望通り波板が手に ている。6尺が欲しい、 では今、波板が不足 飛んだ屋根は瓦屋根 屋根が飛べば施 とであった。 も手掛けているとの 洗面台などの住設工 たシステムキッチンや る職人さんが多い。 工事も、一般板金工 いる。従業員はダクト ダクト工事も請負って ることはできないため しかし従業員を休ませ 場は外仕事ができない。 冬は屋内作業を考えな もどちらの作業もでき 工業㈱では雪の多い冬 くてはならない。日井 福井地方は雪が多く と 事 # 事

後にして調査を終えた。 午後5時すぎ福井を 鷲見

午後は職種別分科会、

一般職種全体総括

30分に亘り報告が行な 米雄会長からそれぞれ

わ

午前の部を終了

(3)

維関係職 四分科会

種

機械関係職種

建設関係職

種

第二分科会

第三分科会

があり、

活動について

保田常務理事より説明

日本建築大工技能士会

理技能士会連合会小倉

全国調

第

12 全国 |技能士大会に 参加して

平賀俊行理事長の挨拶 名の出席者があり、 クト板金の一技能士と 営方法について全技連 士の現況と本大会の運 祝辞を述べられ形どお のあと小里労働大臣が 中央職業能力開発協会 連合会道正邦彦会長、 主催者の全国技能士会 の東條会館で午前10時 は東京都千代田区麹町 名であった。 から各職種の技能士20 「の大会参加者は約500 の大会に愛知県のダ 午前中、技能 開催場所 愛知県 4

0

、ます、 ③組織の充実 ②技能士の役割 ①技術を支える技能 いて述べられた。 なされ、次の事項に 事の3氏の意見発表が 連合会長尾信夫常務理 クリート圧送事業団体 田幸雄理事、 テリア事業協同組合吉 栄理事、 日本塗装工業会伊藤富 13時より14時50分まで 建設職種分科会では に分かれて行なわれ 関東建設イン 全国コン

等について意見交換 ⑫技能士の処遇 ⑪行政に対する取組み ⑩大企業なるとの連携 ⑨今後の業界の在り方 ⑧技能競技大会 ⑦人材の育成 ⑥技能者の意識改革 ⑤建設現場の改善 ④関係機関との連携

検定官から発言内容 る労働省職業能力開発 からは、三菱総合研究印象深く感じた。15時 材の育成、今後の業界 特に技能士の処遇、 り時間一杯行なわれた。 行なわれ、助言者であ ついて適切な助言があ 代表取締役牧野 あり方等については 技能振興課吉田技能

で行なわれた職種別分 る経営」と題した特別 た。そのあと、 講演で熱弁を振るわれ が「すれる経済・ 先程ま 変

5時閉会した。 議案が採択されて午後 座長が報告し、 科会報告をそれぞれ 大会決

0)

副理事長

村上

西三板金連合会青年部 向 訓練を実施

8日間、材料は"茶筒" 9月14日・9月15日の 9月1日・9月5日・ 9月7日・9月12日・ 8月24日·8月29日· 願いした。訓練日程は 師には杉浦彰先生を 水』お茶の道具でした。 本年は"茶筒"及び"建 訓練を実施した。昨年 長をはじめ19名、講 課題は、吊り灯籠、 一学院に於て技能向 続き本年も岡崎技術 西三青年部は、昨 神谷定幸 お うず』で絞っていくわ 厚 が真 たたかないように周囲 を曲げます。この後『ば を書き『うす』で底を (建水の底になる部分) ンパスで直径9%の円 ず困りました。まずコ を付けていいのか分ら のことで、どこから手 加工を行うのは初めて ました。自分は建水を 初日は、金槌・木槌等 選択しましたが、絞り 道具の直しから始まり 0.8の銅板でした。 **鼻** *建水*が

参加者は、

章 成した作品の前で、記金と硫化着色を行い完 れが絞れない。 念写真を撮って終了 最終日に内側の半田 になってしまった。 になり、

あると思う。 が付き、大変有意義で できるのと、 成する事で自分に自信 たことの無い事を勉強 ح の訓 練は普段や 作品を完

田

を開こうという事に。

中川港

福田

くから不思議である。 友といった親近感がわ 来会っていないのに スと盛り上がり何十年 かなか立

けです 当初予定していなかっ 生の指導を受けること でなめて掛かったらと た「ふた」を作ること 好がつきました。また を受けて、なんとか格 い、杉浦先生の手直し 何回も焼きなましを行 ち上がってくれません。 物が小さい 結局先 鍍 0

目的地へ。

オバさんといったとこ

クラス会 ので打 クラ

名前と顔が一致しない り、 い顔が揃う。なかには 集合時間と共に懐かし 決った。 ないが小学校前とする 面影を全く残しては 集合場所は、その 人女9人が集まった。 だった級友のうち男10 37年になる。当時55人 を昭和29年に卒業して 浦温泉で開催する事 トントン拍子にまとま ラス会の打合せに入り るといった話。話がク うと同時に今何してい みに出かけて行く。 話があり、二日後楽し 小学校の同級生から電 せに集まらないか」と 会を開きたい ある日突然 10月5・6日に 地元の小学校 頃 会 た。 次回を楽しみに閉会し 又何年後にかクラス会 の挨拶で会が進行。 ろ。車3台に分乗して

暫くして恩師山部先生

たが次第に増えてちょ

は2~3人で飲んでい

っとした小宴会となる。

の再会に乾杯! を取り出し、 屋の冷蔵庫からビー ホテルに着くとまず

久し振り

ル

していたが会が進むに めはお互の思い出話を

つれてカラオケやダン

親



みんなそれぞれに年輪 を経て50才のオジさん 全々判らない人など、 街ですれ 違っても れている事に鑑み、

特

0

時間外労働の削減!

設関係は交通事情

改善に重

場が店社に比べ制

度面

を取り入れる事 に消化できる様な制度

ずが望ま

いのでは。

改善が

むものであるとし 重点目標として取り

現

組 最

率の向上と積極的 度の整備を図 の労

目

愛

推移となっている。

建設業の労働

およそ次のような 働時間の短縮

労 働 畤 誾 の 短 縮 の 指

針

to

深くなり、

いて推

進され

る事

17

らに就いて探究してみ 上している今日、それ 短縮の問題が急速に浮 る我々は、 業界に云える事と思う。 業界のみならず、 されているのは我々の な問題として取り沙汰 やはり人手不足は深刻 日との頃ではないか。 りたいなどと口走る今 訪れた台風の さて、 建設業に携わ 労働時間の 始末に も借 全産 事になるだろう。 休2日制に移行さ その後速やかに完全週 4週6休制を実現し、 ◎週休2日 なるのでは。

又、既に4週6休

れ る

ることにしよう。 一設業に於ける当面 期に完全週休2日制の っては、できる限り早 用している事業所にあ 以上の週休2日制を採

画

港

板

則として土日連続全休 ◎ 連続休暇の普及・ 制とする事が望ましい。 される事が望まれる。実現を図られる計画を 尚、週休2日制は原

上に拡大を計 それぞれ一週間程度以 デンウィーク及び夏季 連続休暇について、 末・年始・ゴール 建設業にあって 暇 0

低く、

週休日が少な

15 から 13

週休2日制の普及率

間が長い最大の要因

事にあること、又一週

法定労働時間について

調 事の発注や施工 変動を少くする様、 整して下さ 年 間の工事量の季 お願いしてい 一時期

拡充等ノ

0 工事量の平準化を

労 安全確保に努力 べ害を起こさな しています

の週 働を極力抑制する様 確保される様に休日 場合にお が長 休制度が実質的 度の削減を目指し 事 情によって労 べく、 当面 いて所定 12 働 労

0 配慮が必要となる。 発注者の理解と 受注条件の改善!

10月11日より13日

恒

例となった、名古

尾張名古屋の

4

成4

年度迄に於て

普及促進!

よう。 期す必要があると云え 営業力を強化すること 化や工期の厳守などを せると共に品質の高度 が不可欠である他、 されることを踏まえ、 発注条件に大きく規定 一力や技術力を向上さ 件の改善もなされ、 労働時間は工期等の 得水準の維持と受注 企 を盛り上げた。 展示など会場の雰囲 支部犬飼氏の実演、 連合会も参加、中川 沢山の催しで開催され 民参加コーナー等盛 実演・即売・相談・市 振興会館2階ファッシ 合員が製作した作品 た。愛知県板・名古屋 ョン展示会で、展示・ までの3日間中小企業 屋まつり協賛の職人展

くりにで協力下さい 活力ある労働環 を残すために! 1) い仕事(建造

かる

カュ

わらず、

Ψ. 野

事

10月10日は祝日にも

週 休二日制導入を 進めています

りゃある工期を設 て下さい。 制を折込んだがゆと 週 休二 日制や連続休 定

ま 節 I を す

新春セミナー案内

られつつある事を踏

ま

0)

40時間労働制の実現に

段階的短縮が図

2日制の普及促進を

将来に向って週休

に鑑み、 な制

盤備が遅れている事

速やかに適

5

年次有給休暇制度

恒例の板金セミナーを下記の通り開催致します 多数ので参加をお待ちしています。

平成4年1月26日(日) 午前10時開会 午前の部

> 午後の部 講演 = 漫画家・富永一郎氏 新春福引き

• 場所 愛知県産業貿易会館西館 10F 大会議場

> 名古屋市中区丸の内3-1-6 **☎** < 052 > 231 − 6351

2,500円(昼食・福引つき) • 会費

> てほしいものである。 球場での胴上げを見せ

十月二十九日火

晴

五六号

編集会議

委員

六名

後五時終了

- 申込 各支部長まで会費を添えて申し込んで 下さい。
- * 今年度から、板金セミナーを愛知県板金工業 組合技能士会が後援することとなりましたの で、技能士会の皆さんのご協力をお願いしま す。

配慮して下さ 1.5 "ムリ"のない 様に 以上のことを、 注 意して 施工 いま

17

この道ひとすじ

らす。 業

得る様に努めて下さ の発注者に御理

一解を 沼澤 ()

相 方法などを打合せた。 談、

PRに当った。 当てられた日に会場で 又開催期間は名古屋の 各支部長がそれぞれ割 製品の説明など

た。

6月から首位に立

ジンクスは生きてい

9月に入り思いもかけ所が、ところがである。

い込んでいた。 っそう大きくなると思 追い風で経済効果もい 間違いなし。

好景気の

そして8月の終り頃に

も一段と美味であった。 の勝ち戦にビールの ドラキチにとって連 った好調中日ドラゴンズ。

味 日

は3年ぶりの優勝絶対

った。

ない苦月になってし

ŧ

会長・棚橋がMへ長・早川専務・加 4 加藤 中川 港

5

ばかり。 来年こそ、高木新監督 も残念でならない。 ったのは、返すがえ 熱血男星野監督の最後 事になってしまった。 に首位の座を明け渡す ドラ軍団なのに、ついあれだけ快調に走った の年を優勝で飾れなか ほろ苦く変わった。 チ、イライラ 連日の負け戦でドラキ 指揮のもと、ナゴヤ ピリ がつ ル 0 味 0 す は る